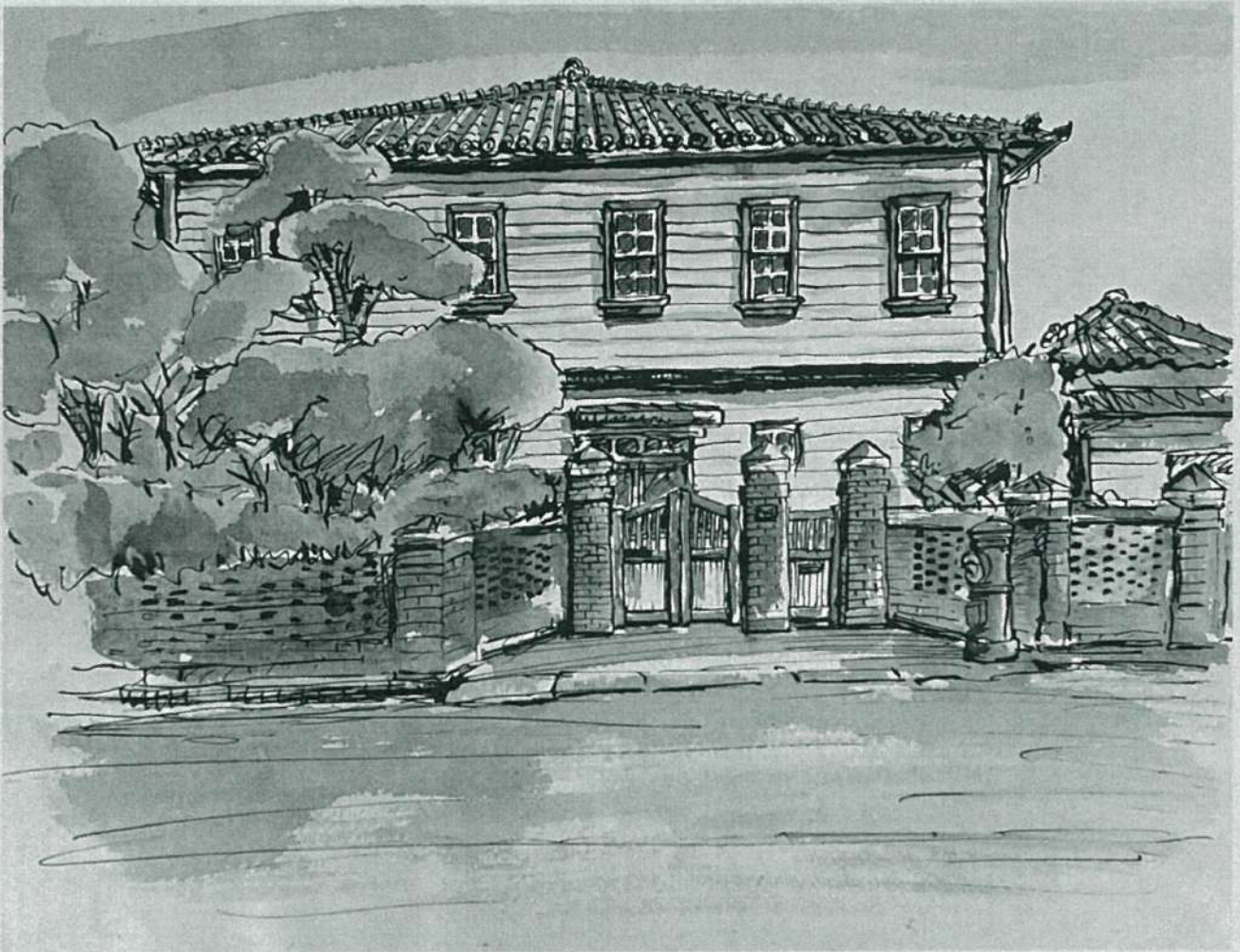


歴史と神戸

特集 戦時下の体験を掘り起こし語り継ぐ



小泉製麻日本社（阪神・淡路大震災で全壊）

画・田中邦彦画伯

63巻 4号 / 歴史と神戸 / もくじ

特集 戦時下の体験を掘り起こし語り継ぐ

【ひょうご史こぼれ話】

兵庫県内の防空監視哨 …………… 柴田 昭彦 (1)
—残された情報をもとに配置網を考える—

シンポジウム 記録 空襲・戦災体験を次の世代に引き継いでいくために
—神戸空襲を記録する会のこれまでとこれから— …………… (9)

あいさつと報告 神戸空襲を記録する会代表 岡村隆弘
講 演 田辺真人 (兵庫津ミュージアム名誉館長、園田学園 女子大学名誉教授)
「神戸空襲を記録する会の活動と中田政子さん」

パネルディスカッション

木村信行 (神戸新聞論説委員) / 長富日向 (二〇二二年高校生平和大使) /
片瀬奏磨 (二〇二一年・二〇二二年高校生平和大使サポーター) /
岡村隆弘代表

司会・コーディネーター 辻川敦・馬場敦子 (神戸空襲を記録する会)

旧制姫路高等学校の学徒動員 …………… 湯田 拓史 (37)

初代神戸停車場の給水設備 …………… 高橋 健司 (46)
—明治七年にあった水道と消防施設—

地方史研究協議会が10月19日 / 20日に兵庫で初の大会開催 …………… (52)

暑中見舞い申し上げます …………… (54)

新聞地域版を読む (52、57) 受贈図書紹介 (45) 新入会員 (36)
表紙の作者・田中邦彦氏

巻頭言

二月九日に亡くなった元神戸史学会委員の渋谷武弘さんの遺稿が、十月末に神戸新聞総合出版センターから自費出版される。タイトルは『ひょうごの怪異 / 伝承の謎を追って』で、平安朝の不思議・ひょうごの女・古代史とひょうごの地名・ひょうごの戦さと殺人事件・街道を結ぶ怪 | の五章立て。昨年十二月に「本を出したい」と相談を受けた。『歴史と神戸』に掲載された原稿十四本を改稿したものに書き下ろし六本を追加。ところが原稿が整い写真を入稿する直前に帰らぬ人となった。病床ではこの本の話ばかりをしていたといい、奥さんと娘さんが出版を続ける決断をした。ただ写真の所在が分からないとのことで、私が『歴史と神戸』掲載の写真を提供、行きがかり上、校正のお手伝いをしていく。あまりに突然のこと、渋谷さんも無念だっただろう。出版で冥福を祈りたい。

(大国)

西国将軍 池田輝政 姫路城への軌跡

世界遺産の姫路城を築いた初代城主・池田輝政とは、どんな人物だったのか。待望の評伝。
中元孝迪・著 ●定価1,980円(税込)

日本遺産と播磨

日本遺産に認定された、播磨が誇るさまざまな地域遺産の物語を11人の筆者が掘り起こす。
播磨学研究所・編 ●定価1,980円(税込)

昭和の青春 播磨を想う

ドイツ文学者、エッセイストとして活躍した著者が、故郷を舞台に描いた巧みな短編集。
池内紀・著 ●定価2,200円(税込)

走らなかった鉄道 未成線を追う

計画されたものの、開通することがなかった鉄道「未成線」の跡を現地調査と資料でたどる。
松村真人・著 ●定価1,980円(税込)

神戸大空襲 [復刻版]

昭和20年3月17日と6月5日の「神戸大空襲」。体験者の生の声を収め、被害を語り継ぐ。
神戸空襲を記録する会・編 ●定価1,980円(税込)

神戸居留地に吹く風

外国人居留地のドイツ人貿易商と、日本人女性の妻との暮らしを通して開港後の神戸を描く。
秋田豊子・著 / 宇津誠二・挿画 ●定価2,200円(税込)

いのちをめぐる物語

死ぬって、怖い？
一人ひとりの人生を聞き取り、対話を重ねながら「いのちの終わり」を考える。
神戸新聞社・編 ●定価1,760円(税込)

自費出版のご相談は
078-362-7143 (出版部)
jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp

神戸新聞総合出版センター 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル9階
TEL 078-362-7138(販売) FAX 078-361-7552

▶ <https://kobe-yomitai.jp/> 公式ツイッター @kobe_np_syuppan

編集後記 今回は戦争関係のものを三本で特集を組んだ。「ひょうご史こぼれ話」は防空監視哨の調査を続けている柴田さんの追加報告。聞き取りと執念の文献調査で県内の広い範囲に存在していたことを明らかにした▼メーンは昨年七月に開催した神戸空襲を記録する会のシンポジウムの収録。『歴史と神戸』の同年六月号の特集を踏まえ、次の世代への継承を考える企画だった。田辺真人さんの講演は神戸史学会との関係にも言及した行き届いた内容。高校生平和大使も加わった討論では、戦禍を伝えたいという若者の熱意に胸が熱くなった。ウクライナやガザでの戦火が続いているだけに余計に胸に残った▼湯田さんは、旧制姫路高等学校の学徒動員の勤労実態を検証。動員は学別に学級単位で行われ修練だけでなく、補充授業や試験も考慮、学業への配慮を怠らなかつた▼高橋さんは明治七年開業の神戸駅には日本最古の自噴する給水設備があったことを明らかにし特色を検討した。(大国)

参与 藪田 貫 奥村 弘
委員 有吉康徳 大国正美
岸添和義 高木伸夫 高田祐一
津谷治英 増田行雄 吉原大志
依藤 保
(地域委員)
宮本 博(明石) 岸本 道昭(西播)
定本 義広(淡路) 辻川 敦(阪神)
山内 順子(丹波) 森田 忽(但馬)

創刊・昭和37年8月15日
会費・年額三千元(1~12月)
隔月刊・歴史と神戸 第63巻第4号
令和6年8月1日発行
編集発行 神戸史学会
〒657 神戸市灘区岩屋中町三丁目一ノ四
(八登) 田中印刷出版株式会社内
電話(七〇)八七一〇五五一
振替口座 〇一九〇二四〇二八
▼代表兼編集人 大国 正美
〒664 0846 伊丹市伊丹2-1-19
電話(七二)七八三一六七〇
(FAX番号はお問い合わせ下さい)
nakomari1234@gmail.com

▼副代表 増田 行雄
▼会計担当 有吉 康徳
◆会費納入の銀行振込をご希望の方は、
メールでお問い合わせください。